

# 安来市体育協会だより

第 8 号

平成 29 年 10 月 20 日発行

## “頑張っている”



安来市体育協会  
会長 石川 隆夫

市民の皆様には、日頃安来市体育協会の活動にご協力をいただき、厚く御礼を申し上げます。

さて、早いもので私が会長を引き受けまして、7年が経過いたしました。毎年言っているようでありますが、“スポーツを通したまちの活性化”というスローガンを掲げ活動してまいりましたが、成果がどこまであったかは皆様の判断にお任せすることとして、私自身としては今まで何とかやってこれたかなと思ったりもしているところであります。

そうした中、昨年度は今までにない事業やイベントが開催され、競技面でも大きな成果のあった1年であったように思っております。主だったものを申し上げます。8月には高校総体いわゆるインターハイのテニス競技が松江市と安来市で開催され、安来市では全国各地を含む3,500名の来場者がありました。そんな中で安来市飯島町の大和里緒さん（現関学大）は、開星高校女子テニス部の主将として開会式では選手宣誓の大役を果たすとともに開星高校躍進の原動力として活躍されました。7月には島根県中学校野球大会が9年ぶりに安来市で開催されました。優勝を狙っていた安来一中でありましたが、優勝した大東中学に準決勝で敗れはしたものの大会は大いに盛り上がりました。小学生も頑張っております。スポ少関連ではありますが、男子の部の安来レイダースと混合の部の島田クラブのふたつのチームが全日本小学生バレーボール大会に出場しておりますし、母里小学校6年の福島ひなたさんが全国小学校

女子80メートルハードルで島根県代表として出場し、準決勝進出をはたしております。

安来高校バレー部、フェンシング部の活躍をご承知のとおりでありますし、国体にも10名以上の一般社会人も出場しております。その他小・中・高校生・一般の部において中国大会、全国大会に多くの選手が出場しており、競技力の向上という面では一定の成果が上がっていると思っているところであります。

市との共催事業であります中海マラソンや自治会親善野球大会については、体育協会の皆さんの協力によりスムーズに大会運営ができましたこと大変喜んでいるものであります。また、2月には初めての試みとして、徳島大学の荒木秀夫教授を招き、“スポーツとコーディネーショントレーニング”というテーマで研修会を体協主催で行いました。約100名の参加があり、大変好評でありました。今後の継続について市と検討していきたいと考えております。

市民の健康とスポーツの振興という事につきましては、各部でさまざまな活動がなされてはおりますが、高齢化やスポーツの多様化等により、参加者の減少などの課題があります。3年後には東京オリンピックもあり、スポーツへの関心が高まっている現状で何とか体協加入者を増やし、活動が衰退しないよう取り組んでいかねばならないと思っております。

総会において、永年安来市体育協会の活動にご尽力をいただき、功績を残されました5名の方、全国大会で優秀な成績を上げられました安来レイダースと安来高校フェンシング部を表彰させていただきました。これまでのご苦労と精進に対し敬意を表しますとともに今後のご指導とご鞭撻、一層のご活躍を期待するものであります。

最後になりましたが、市民の皆様のご協力・きたんのないご意見などいただきますようお願いいたします。ましてあいさつとさせていただきます。



体育協会研修会 (H29.2.19)



第29回島根県スポーツ・レクリエーション祭  
フォークダンス大会 (H29.7.2)

# 受賞おめでとうございます



受賞のみなさん

## 瀧 正 夫 様

所属 安来市グラウンド・ゴルフ協会

功績 昭和61年に広瀬八幡町グラウンド・ゴルフ同好会を発足し、昭和63年2月に広瀬町グラウンド・ゴルフ協会発足とともに理事・副会長に就任した。各種大会に参加し功績を残すかわら、平成12年にグラウンド・ゴルフ2級普及指導員の資格を取得し、また平成23年2月からは安来グラウンド・ゴルフ協会広瀬支部会長を務め、会員の指導及び大会の企画運営等に尽力されています。

## 板 持 義 市 様

所属 安来市ソフトボール協会

功績 プレーヤーとして、そしてキャプテン・監督として島根県ソフトボール協会の大会で中心的な役割を担っている。実年、シニアチームでも県代表として全日本選手権・西日本大会実年の部で常に出場できるチームを育て上げてきた。その指導力は全日本実年ソフトボール大会5回、西日本実年ソフトボール大会6回出場の強豪チームに育てた。また、安来高校の男女ソフトボール部の指導も行い、ソフトボールの普及発展に尽力されています。

## 岡 田 重 康 様

所属 安来市剣道連盟

功績 日立金属(株)日立剣道部の指導者として、日立金属杯中学校親善剣道大会の開催に携わり、島根・鳥取両県の中学校剣道の発展に尽力した。常に真剣に剣道修行・研究に励まれ平成19年に剣士7段を取得された。培われた高度な技術知見を踏まえて誰に対しても熱心に指導にあたられ、地域剣道の発展普及、青少年の健全育成に尽力されています。

## 鶴 原 嘉 明 様

所属 安来市バレーボール協会

功績 平成6年安来市小学生バレーボール連盟を発足させ、安来市内小学生バレーボールのチームをまとめ、バレーボーラーの育成と指導者の養成に行い、安来市での小学生バレーを定着させた。現在は合併に伴い、新しい安来市の小学生バレーボールチームをまとめる会長を務めている。また、平成17年からは岡山市との交流大会を発足定着させた。安来市小学生バレーボールの普及発展に尽力されています。

## 加 納 桂 二 様

所属 安来市ソフトテニス連盟

功績 平成7年安来市ソフトテニス連盟に所属し、平成10年には連盟理事にそして平成23年には副理事長の要職に就任し、連盟の発展並びに事業運営に積極的に携わった。平成22年からは「さくら総合スポーツクラブ」の選任指導員として小学生の指導に当たり、数多くの優秀な選手を育成した。その指導力は卓越しており、選手の育成だけではなく安来市のスポーツの普及・発展に尽力されています。

## 安来レイダース (代表池田良則) 様

所属 安来市バレーボール連盟

功績 平成15年に地域でバレーボールの好きな小学生を集めバレーボールができる環境づくり、バレーボールの面白さや楽しさを伝えたい思いで飯梨小学校児童を集めチームを立ち上げた。現在は赤江小学校・荒島小学校の生徒を含めたチーム構成である。団としての活動は、地域小学生にバレーボールの楽しさや面白さ、そして練習試合や試合を通して正しく強く生きることを教えるだけでなく、地域の活性化に尽力されています。

## 島根県立安来高等学校 女子フェンシング部 様

功績 平成29年3月17日～20日に山梨県甲府市総合市民会館山の都アリーナで開催された「第41回全国高等学校選抜フェンシング大会 (女子学校対抗の部)」で輝かしい成績を収めた。

監督 永井 尚宏

成績	フルーレ 第3位	井塚 千晶	青山 紗香
		内田 樹里	渡部 遼
		小原 未久	小原 未久
	サーブル 第3位	井塚 千晶	實重 舞音
		小山 ゆい	小原 未久
		渡部 美羽	渡部 美羽
	エペ ベスト16位	青山 紗香	内田 樹里
		渡部 遼	田中 那海

## 安来市体育協会役員名簿

平成29・30年度

役 職	氏 名	所 属
顧問	近藤 宏樹	安来市長
会長	石川 隆夫	
副会長	國重 光美	安来地区選出
副会長	山本 誠明	伯太地区選出
副会長	本山 禎彦	広瀬地区選出
理事長	森田 健平	安来市卓球連盟 会長 競技部 【部長】
副理事長	木戸 精一	安来市スポーツ少年団 副本部長 少年育成部 【副本部長】
副理事長	遠藤 泰史	井尻地区体育協会 会長 地域振興部 【部長】
理事	宮本 功二	安来市スポーツ推進委員連絡協議会 会長 指導者部 【部長】
理事	永見 健	安来市テニス協会 会長 競技部 【副部長】
理事	嘉本 祐一	安来市空手道連盟 会長 競技部 【副部長】
理事	稲田 良造	安来市太極拳協会 会長 競技部 【副部長】
理事	山本 敏熙	安来市陸上競技協会 会長 競技部 【副部長】
理事	川津 邦雄	安来市バドミントン部 会長 競技部 【副部長】
理事	野坂 悦由	社日地区体育協会 会長 地域振興部 【副部長】
理事	須藤 操	山佐地区体育協会 会長 地域振興部 【副部長】
理事	野坂 啓二	安来市スポーツ少年団 本部長 少年育成部 【本部長】
理事	井上 進	安来市スポーツ少年団 副本部長 少年育成部 【副本部長】
理事	山本 武士	布部地区体育協会 学識経験者（広瀬地区選出）
理事	梶瀬 倫住	母里地区体育協会 学識経験者（伯太地区選出）
理事	原田 吉郎	荒島地区体育協会 学識経験者（安来地区選出）
監事	矢田 和子	安来市フォークダンス連盟 会長 競技部選出
監事	近藤 佳人	赤江地区体育協会 会長 地域振興部選出

## 安来市スポーツ少年団本部役員名簿

平成29・30年度

役 職	氏 名	所 属
本部長	野坂 啓二	安来中央スポーツ少年団（複合）
副本部長 （3名）	木戸 精一	安来剣道スポーツ少年団
	井上 進	島田スポーツ少年団（野球）
	大久佐 明夫	市民生活部次長 兼 文化スポーツ振興課長
委員 （8名）	矢淵 友則	十神キッズスポーツ少年団（野球）
	西村 陽介	広瀬町少年フェンシング教室
	石田 陽一	ひろせげんきっずテニスクラブ
	谷口 広行	レイダース
	金森 真一	布部クラブスポーツ少年団（バレーボール）
	井谷 淳一	セレジェイラ安来FC（サッカー）
監事 （2名）	寺本 輝夫	安来市空手道スポーツ少年団
	太田 真英	広瀬少年剣士会
	野々内 陽平	安来MBC（バスケット）

## 活動内容&紹介

### 飛躍を誓って!!

#### 十神キッズスポーツ少年団

私たち十神キッズは十神小学校在学生の団員から成る軟式野球チームです。平日は月曜と金曜の学校終了後、土曜と日曜は午前中に、十神小学校グラウンドで練習しています。現在のチームは5年生が7人、4年生が6人、3年生が3人の計16人です。6年生がいないこともあり、今シーズンは基礎固めのシーズンと位置付け、キャッチボールとノックを中心に、全員が同じメニューで基礎的な練習をしてきました。団員にとっては試合になかなか勝つことができず、つらいシーズンだったと思いますが、今シーズン積み重ねてきたことが来シーズン、あるいは中学、高校につながる財産になるはずです。そんな中でも、徳島で行われた大会へ出場しみんなで宿泊したこと、練習試合で勝ったことなど、楽しい思い出もたくさんありました。後から思えば充実したシーズンだった



たなど、そう思えるようにこれからもますます一生懸命かつ楽しく野球に取り組んでいきたいと考えています。

### 全国道場少年剣道大会に出場して

安来剣道スポーツ少年団 指導者 木戸 精一

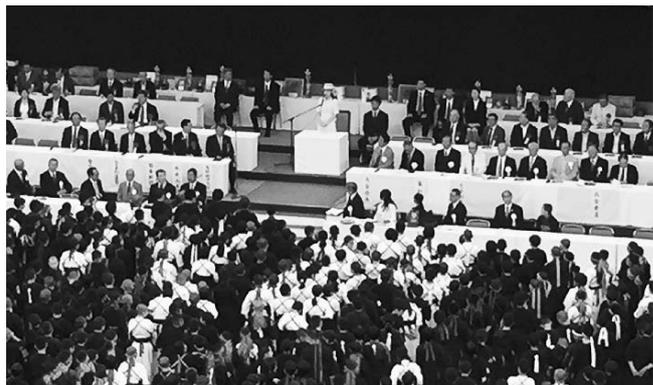
夏休みに入って間もない7月25日東京の日本武道館で皇室からは瑤子女王殿下のご臨席を仰ぎ全国から470チーム2,400名の小学生選手が集い大会が開催されました。

毎年この大会に出場するのを楽しみに上級生たちは、一生懸命稽古に励んでいます。去年は、島根県予選で1回戦で敗退し出場できませんでした。特に今の6年生のメンバーが不甲斐ない試合内容だったので今年も心配したところですが、3月ごろから最上級生という自覚が出来て稽古に一生懸命取り組む姿は、目を見張るものがありました。それでも試合になると不安な気持ちがよぎりました。いざ、県予選に臨むと5年生の活躍もありましたが、ここ一番というところで力を発揮してくれ県予選を3位と好成绩で全国大会の出場資格を得ました。

全国大会では、一回戦山形県のチームと対戦し堂々とした戦いぶりで4対0で勝ち2回戦に臨みました。2回戦は優勝候補である東京の東松館と戦い負けはしましたがそんなに力の差はないといった戦いぶり

### 回 全国道場少年剣道

盟 後援：スポーツ庁・総務省・内閣府・全日本剣道連盟・日本武道館・日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION 特別後援：毎日



で昨年のことを思うと「よくぞここまで力を付けてくれた。」と指導者として感慨深いものがありました。

今後も試合に勝つことよりも子供たちそれぞれが、自覚と責任感を養っていくような指導を続けていきたいもんだと思った次第です。

## 今後の活動について

安来市ソフトボール協会理事長 小西 満幸

安来市ソフトボール協会の平成29年9月以降の活動を紹介しながら、ソフトボールの理解と親しみを得て頂ければ幸いです。

平成29年9月からの大会予定は、9月10日より秋田県由利本庄市で開催される第30回全国健康福祉祭あきた大会（ねんりんピック）へ今回で8回目となる安来ゴールドチェリーズが出場します。

又、11月4日より香川県丸亀市で開催される第26回西日本実年ソフトボール大会に赤江体協実年チームが出場します。

9月24日には、今年で21年続いているソフトボール大会を開催しますが、ドジョッコカップと名称変更してからは今回で7回目です。

男女混成チーム・地域の仲間のチーム又職場のチームあり楽しく、にぎやかな大会として市民の皆様へ愛され期待されている大会です。

平成30年度は、安来市ソフトボール協会設立30周年を迎えます。

市民の皆様へソフトボールを生涯スポーツとして楽しんでいただくため、以前にご紹介させていただいたジョイフル・スローピッチソフトボール大会を開催したいと考えています。

## サンクトペテルブルグとラトビア国の 剣道セミナーに参加して

木戸 精一

私は世界剣道武徳和心会という全国で約200名の会員で組織する団体に所属しています。この組織は、故橋本龍太郎元首相がロシアとの外交問題を解決するには、民間交流が大切だ。ということから元橋本首相が剣道をされていたこともあり、ロシアの剣道大会に橋本龍太郎杯を贈られたことをきっかけに我々



の会長である奥出雲町在住の吉山満先生がその意思を受け継ぎ会の名も元橋本首相がよく書に著わされた『和心』という言葉をいただき和心会と名乗っています。

平成4年から私たちはすべて自費で毎年のようにロシア各地や中国、カナダなど世界各地を訪問し剣道を通じた民間交流を行っています。

私は今回2回目の海外遠征でしたが、今年は、サンクトペテルブルグと隣国のラトビア国の首都リガを8月23日から31日まで北は岩手県から福岡県までの11名（島根からは3名）で訪問しました。サンクトは正味4日間、参加者60名、リガでは3日間20名の参加者で剣道セミナーを開催しました。

サンクトでは、日本領事館にご挨拶に伺いました。外務省では私たちの15年間の積み重ねた交流を良くご存じで表敬訪問の様子などをホームページにアップされるなど配慮していただきました。

サンクトはロシアでも剣道のレベルが最も高く6段レベルの選手も数人おり、また、ヨーロッパ選手権者もいました。セミナーでは、女性の参加者が日本語の翻訳の仕事をしていて流ちょうな日本語で通訳してくれましたが、何せ一人しかいないので指導内容が上手く伝わるのか心配しましたが、彼らは一生懸命学ぼうという態度で身振り手振り、また、我々の仲間には英語ができる人がいて指導内容をしっかり受け止めてくれ最終日には、皆、著しい上達振りでした。





観光は稽古の合間を縫ってどちらも半日づつでしたが、サンクトでは、旧ロシア帝国時代のカラフルな宮殿が数多く残っており見ごたえがありました。リガでは、青く澄みきったバルト海やちょう街の中心部では、中世ヨーロッパ時代の彫刻を施した建物、石畳の通りなどきれいな街の姿が印象的でした。

帰国してから2名の剣士が代表してセミナーの感想をホームページにアップしてくれていました。「今まで、今回の先生方よりパワフルで強い先生方が沢山来てくれ指導を受けたことはありますが、剣道の基本、心、魂とかを掘り下げて指導していただき剣道を本当に愛し続けていきたいと思えた。そして吉山会長のことを『私の剣道の父』と言い、私の剣道の父に対する私の敬意と愛は最高のものになった。」という感想を読んで胸が震えるほど感動を覚えました。

## 「からこそ」

バドミントン部 富田 益司

7月17日出雲カミアリーナで縁結び団体バドミントン大会に松江のあるチームの一員として出場させてもらった。

1部から7部まである4部Bゾーンの4組リーグ戦。男子ダブルス、女子ダブルス、混合ダブルスの順で試合は行われる。予選は30点1ゲーム延長戦なし。決勝は15点3セットで2セット先取したほうの勝ち。

予選第2試合目。中学生と若い先生のような感じがするペアとの対戦。先生の方は背中に島根と文字の入ったTシャツで現役バリバリの感じがする。30点1ゲームの試合は始まった。やはり先生は相当にうまい。学生は先生より身体が大きくて油断はできない。

しかし出来るだけ学生を攻めて5対7、17対15とシーソーゲームで試合は進んだ。そして29対29あと

1点を取った方が勝利する。ここで1点取ったら男の子だぞと先生は学生に言った。おもしろい今までとは違う1点の重さ。緊張の中で学生のサーブを待った。ほとんど大きなサーブをしてくる。やはり大きなサーブをしてきた。学生の方にスマッシュ、ネット前に緩い球が返ってきたパートナーがダッシュをしてプッシュ、球は相手側の床に落ちた。勝った。おもわず何も考えずに久しぶりにガッツポーズ。

結果は予選1位、決勝も力を合わせて勝つことができた。

この大会で72歳の方とも対戦をした。小学生から社会人までバドミントンで戦う出会いがある。おかげ様でバドミントンを今日まで続けてこれた「からこそ」の宝物になる熱い一日だったと今も感じている。



## あとがき

皆さんは、年に1回「がん検診」を受診しておられますか。死因別死亡割合をみますと、全国も安来市も「悪性新生物（がん）」は全体の1/3だそうです。早期発見・早期治療により90%が治るといわれています。『がん検診』そして『精密検査』を受けることが大切です。人生を楽しく過ごすためにも。

唐突な書き出しで申し訳ありません。

安来市においては、市民の健康状態を把握し、市の効果的な対策と指導方法の確立をめざし、各関係機関及び団体等との連携を図り健康づくりの推進に向けて「安来市健康推進会議」が設置されています。市内31の団体で構成され、安来市体育協会も加盟しています。

健康に留意することは、大切なことであり各加盟団体における今後の活動にとっても大変重要なことではないかと思えます。

今一度自分の健康を見つめなおしてはどうでしょうか。

〒692-0011 安来市安来町1337-1  
安来市体育協会（安来市民体育館内）  
TEL 0854-23-1923（兼ファックス）  
E-mail: taikyuu@yasugi-reserve.0ch.biz